

新聞を活用して 「持続可能な社会」を考えてみよう!

- ・今の世の中、いったいどこが持続「不」可能なんだろう?
- ・どこに課題があり、どんな解決方法が考えられるんだろう?

そのような問いに向き合い、SDGs（持続可能な開発目標）をジグソーパズルとして捉え、考えを深めていくために、自分の暮らす地域、日本、世界の出来事やその見方がまとめて掲載されている『新聞』は有効なツールです。

朝日新聞社ではSDGsの各ゴールごとに書き込み用の余白のある付箋とその日の新聞を活用したり、カードゲームを使ったりして「持続可能な社会」を考える授業を推進しています。本ページでは、このSDGs付箋とその日の新聞を活用したワーク案を紹介します。次ページのSDGsシートを人数分+α印刷して切り分けて付箋にすれば、誰でも、何人でもすぐに取り組むことができます。

Work 1 一つの記事をSDGsと紐付けて読む

ねらい 「持続可能」という視点で、一つの事象をみる力をつける

一つの事象にも様々なSDGsが関わり合っていること、一つのSDGsの達成が他のゴールにプラスにもマイナスにも影響しうることを気付き、多角的な視点から持続可能性を考えることを知る。

準備

- ① SDGsシート 人数分印刷しておく。
- ② 個人用プリント A4用紙の中央に、授業で取り扱いたい新聞記事を貼り、クラス人数分印刷。
- ③ グループ用プリント A3用紙の中央に、②で用いた記事を貼りグループ数分印刷。

※記事の周りに、書き込みができるよう十分な余白ができるようにする。



授業の流れ

- ① SDGsシートを配布し、SDGsについて説明する。各自で17に切り分けて付箋を作る。
- ② 個人用プリントを配布し、各自で記事を読みながら、SDGsの達成を妨げていると思うところに線を引く。関係あると思ったゴールの付箋の余白部分に妨げる理由を書く。

※「妨げる理由」だけでなく、SDGs達成を助けている理由をあわせてあげてもよい

- ③ 4,5人ごとのグループになり、グループ用プリントを配布。その余白に、②で書いたゴールの付箋を並べ、それぞれ自分の考えを述べる。

④ グループディスカッション

- ・グループ内で多くあがったゴールは何か
- ・誰か一人しかあげなかったゴールは何か
- ・同じゴールだが考え方の違うものはあるか
- ・誰が（自分が）どうすればSDGs達成に近づくか
- ・一つのゴールが達成に近づくと、それは他のゴールにどのように影響するか



授業のヒント

記事は対象とする児童・生徒たちにとって、身近に考えやすいものがよいでしょう。例えば、身近な人物、商品、お店のこと、さらには地域の取り組みなども考えられます。

ディスカッション後に、各グループ発表をとりいれたり、ワールドカフェ形式で、他の人の考えを聞く機会をつくることもできます。

グループが4つ以上ある場合は、新聞記事の種類も複数にしてもよいでしょう。

グループワーク用に、SDGs付箋セット（写真右上）を用意しておくのも一案です。各ゴールの付箋を、グループの人数+α分ずつクリップや輪ゴムで止めたものを17ゴール分まとめ、ステック糊と共に袋やケースにいれておきましょう。

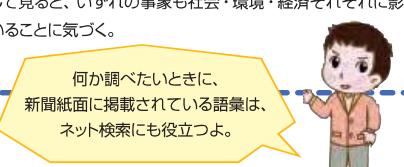
Work 2 新聞をSDGsの観点で読む

ねらい 「持続可能」という観点で、『今』をみる力をつける

その日の一面記事を持続可能性という観点で見てみると、いずれの事象も社会・環境・経済それぞれに影響を与えることに気づき、また一見無関係な事象でも、相互に影響しあっていることに気づく。

準備

- ① SDGsシート クラス人数分+α枚程度印刷しておく。
- ② その日の新聞の一面、糊、はさみ 各自用意する。



授業の流れ

- ① SDGsシートを配布し、SDGsについて説明する。各自でシートを17に切り分けて付箋を作る。
- ② 各自新聞を読みながら、SDGsが関わっていると思う部分にゴールの付箋を貼り、なぜ関わっていると思ったかを余白部分に書き出す。
- ③ 隣の生徒、あるいは3、4人はどのグループでディスカッションする。
 - ・共通のゴールが貼られた記事は何か。異なるゴールが貼られた記事は何か
 - ・その日の一面記事で最もよく使ったゴールはどれか、全く使わなかったゴールはどれか
 - ・最もよく使ったゴールは、ポジティブ／ネガティブ、どちらの関わりが多かったか
 - ・全く使わなかったゴールがある場合は、改めて結び付けられる記事はないか
 - ・一つのゴールが達成に近づくと、それは他のゴールにどのように影響するか



撮影協力／東京女子学園中学校高等学校
当日の新聞を壁に貼りだし、そこに付箋をつけながら話し合うというやり方。

授業のヒント

各グループのゴールの貼り付け数をランキングにして発表し、それを記録しておくもあります。授業を重ねていくにつれて、生徒が関連を見いだせるゴール数が増えていくケースが多く、成長の記録となります。

■ 印刷して、切り取って使えるSDGsシート ■



情報提供協力：朝日新聞社

<https://www.asahi.com/shimbun/nie/> (朝日新聞NIE)
<https://miraimedia.asahi.com/> (朝日新聞2030 SDGs)



18番目のゴールは自由につくろう